

平成30年度第4回林野庁入札等監視委員会 審議概要

開催日及び場所		平成31年3月28日(木曜日)林野庁管理課会議室			
委員		前原一彦(公認会計士) 長谷部修(弁護士) 近田直裕(公認会計士、税理士)			
審議対象期間		平成30年10月1日～平成30年12月31日			
審議対象案件		23件	うち、1者応札案件 11件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件		
抽出案件		4件 (抽出率 17%)	うち、1者応札案件 1件 (抽出率 100%) 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件 (抽出率 100%)		
抽出案件内訳	工事	一般競争	1件	うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件	
		指名競争	公募型指名競争	1件	うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件
			工事希望型競争	1件	うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件
			その他の指名競争	1件	うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件
			随意契約	1件	うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件
	業務	一般競争	1件	うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件	
		指名競争	公募型競争	1件	うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件
			簡易公募型競争	1件	うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件
			その他の指名競争	1件	うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件
			随意契約	1件	うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件
		随意契約	公募型プロポーザル	1件	うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件
			簡易公募型プロポーザル	1件	うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件
			標準型プロポーザル	1件	うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件
			その他の随意契約	1件	うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件
		物品・役務等	一般競争	2件	うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件
	指名競争		1件	うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件	
	随意契約(企画競争・公募)		1件	うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件	
	随意契約(その他)		1件	うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件	
	(特記事項)		・抽出の4件については、落札率の低かった契約等を抽出した。		
	委員からの意見・質問、それに対する回答等		意見・質問 (詳細に記述すること。)	回答等 (詳細に記述すること。)	
(別紙のとおり)			(別紙のとおり)		
委員会による意見の具申又は勧告の内容		該当なし			
[これらに対し部局長が講じた措置]		□ □			

事務局: 林野庁林政部林政課会計経理第1班

(注)公益社団法人等とは、公益社団法人又は公益財団法人(一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第42条第1項に規定する特例社団法人又は特例財団法人を含む。)をいう。

	意見・質問	回 答
<p>委員からの意見 ・質問、それに対する回答等</p>	<p>抽出契約について 〔抽出番号1：林野庁東陽宿舎1号棟屋上防水他改修工事〕</p> <p>・今回の工事は低入札ですが、改修工事なのでそんなに差が出ないと思いますが、他の者に比べて大分低かった理由をどう考えますでしょうか。</p> <p>・改修工事のA者からI者まで8者の評価がありますが、その評価の0、1とか2とか、最高どういう評価がありえて、0、1、2の一般的な意味を教えてくださいいただけますでしょうか。</p> <p>・今回落札業者は総合点で109点で評価としては一番低いということですが、この評価は決定に影響を及ぼさないのでしょうか。</p> <p>・落札率が、84%と必ずしも低くはなかったと思いますが、低入の基準がありますでしょうか。</p> <p>〔抽出番号2：平成30年度国有林GIS機能改修業務〕</p> <p>・低入札で半値以下となっていますが、どんな理由が考えますでしょうか。</p> <p>・プログラム改修ですが、最初にプログラムを設計した会社が詳しいと思いますが、開発した会社との連携は問題ないのでしょうか。</p>	<p>・入札の段階で工事内訳書も出してもらっております。今回落札した業者は単価が低く設定されていることが原因と考えられます。</p> <p>・あらかじめ企業に入札に参加する前段で出してもらった資料に基づいて、必要事項を確認しながら加点していく仕組みになっています。</p> <p>・評価点と価格点、予定価格に対しどれくらい低いかの点を掛け合わせたものとなり、結果的には、価格点が響いたということだと思います。</p> <p>・役務の場合は、40%ですが、工事の場合は、10%となっており、基準が厳しくなっています。</p> <p>・ヒアリングをしたところ、諸経費相当の金額を大幅に値引きしたということです。</p> <p>・本GISを開発した企業体は現在は存在しません。ソフトは無償の使用許諾を取得しております。落札した会社は、初期の段階から国有林GIS</p>

に関わっていた会社です。一方で競争は重要と考えていますので、ソースコードの閲覧等により、いろんな会社に応札していただけるように努力しています。

・結果として、入札業者が2者しか参加しなかったことについてはどう考えますでしょうか。

・他人の書いたプログラムを見直すのはなかなか難しいらしく、積極的に参加しにくいという事があるようです。このため、それほど参加者は多くはならなかったと考えられます。

〔抽出番号3：平成30年度水源の森林づくりガイドブック〕

・入札執行調書に、みずほ総研さんが000とありますがどういうことでしょうか。

・予定価格と入札額が同額であったということです。事前に資料招請をおこなっており、見積もりも2者からいただき、経費とか諸々を照らし合わせて結果、みずほ総研の見積額が妥当であったためその価格を採用したところであります。みずほ総研は見積額どおりで入札したため同額となったものであります。

・採点集計表の評価基準別の合計点と基礎点について、表の見方を教えてください。

・必須と書いてあるのは、0か10になります。そうでないものは、各担当者が10までの範囲内で採点することになっています。

・結果的に日本生態系協会がとったのはどうしてでしょうか。

・価格点が高かったなので、日本生態系協会に落ちたということです。価格点は入札価格と予定価格の差がどれくらいあるのかにより点数が算出されます。入札価格が大幅に低ければ、かなり左右されることになります。

・業者が変わって事業の継続性はどうか。

・検討委員会の先生は継続で行って

でしたでしょうか。

〔抽出番号4：平成30年度国有林野事業におけるGIS活用促進検討業務〕

・アジア航測に2名のOBがおりますが、退職時の役職を教えてくださいませんか。

・企画審査検討経過記録の「計画通りに成果が上がらなかった場合の対応にやや不安が残る。」とありますが、具体的にはどういうことでしょうか。

・今回の契約は随意契約ですが、どちらを採用するか基準はありますか。

・結果として、アジア航測を選んだ理由の一番の決め手は何だと考えますでしょうか。

・今回2者応札で少なめになった原因をどう考えますでしょうか。

その他

・委員会としての意見はなし。

いただきました。業者が作った素案と先生の思いが違って、ワンステップ余計な手間がかかってしまいましたが結果的には先生の意見も反映いただき、苦勞の末作成できました。

・森林管理局長が1名、森林管理署長が1名です。

・事業期間が短い中での対処方法の説明が曖昧であったためです。

・企画競争では、金額を示して、その範囲内で企画を提案してもらい、各委員の採点の結果を集計し、点数の高い者を採用することとしています。

・提案はどちらも良かったのですが、スケジュールに差があったことが原因と考えられます。

・閲覧図書等は8者が来られましたが、最終的には、共同提案も含め3者が応札されました。少なかった原因としては、事業期間が短かったのではないかと思います。